猿田彦ファームかわらばん2025 ～夏越月～

こんにちは、伊藤です。
雨の日の合間の晴れ間、やっと外で仕事できるかなと思ったら爆風。支柱は倒れ、テントは吹き飛び骨は折れ。
今更ながら、本当に一次産業の難易度MAXな場所だなと痛感します。
しかし、昔の人はこの環境を活かして生きてきたと思うと、まだまだ活路はあるはず。
倒れるなら前のめりで突き進みます！！

親子向け狩猟体験を行いました

昨年冬から**3回目**となる親子向けの狩猟体験**「リトルハンターズ・アドベンチャー」**を開催しました。今回は**5組の家族**が参加され、子どもたちが**自らの手**で野生の鹿を捕獲し、**命**を止める**瞬間**に立ち会い、**解体**して、**食**べられるお肉に変えるところまでを**体験**しました。名古屋、大阪といった都市部で生活する子どもたちにとって**小岐須の自然豊かな環境**でのフィールドワークは**冒険**そのもの。

大はしゃぎしていた子供達も、実際に罠に捕獲されたシカを前にし、**命を止める瞬間を迎えた際には真剣な眼差しとなり、命の重さや食べることの本当の意味を、**この体験を通じてそれぞれに感じ取っていたようです。
最後には小岸大神社にて手を合わせ、**与えていただいた命を自分の命に変えさせていただくことに感謝し、**子どもたちは帰路につきました。

今回の様子は、**CBCテレビ放送に密着取材**していただき、**5/23に“newsX”にて放送されました。**
（パソコンまたはスマートフォンにて6/22まで見逃し配信）

こちらを読み取るとご覧いただけます

別件ですが**5/17にはNHK**
“有吉のお金発見 突撃!カネオくん”
にて、**鹿肉のハンバーガー**を取り上げていただきました。カネオくん史上、最もお金の無いところへの取材だったかと思いますが、**私たちの活動を通じてこの町の魅力を多くの方に知っていただける機会になれば嬉しいです。**

鈴之峰の麓人（すずみねふもとびと）

鈴鹿山麓で事業を営む方をご紹介するこのコーナー。
今回は鈴鹿銘物のひとつでもある**“椿こんにゃく”様**を訪問しました。

鈴鹿市山本町にある椿こんにゃく。
鈴峰地区を見渡しても、田んぼとお茶、植木畑はよく見ますが、あまり“**蒟蒻**”を作っている印象はありません。**「昔はお茶畑の畝間に蒟蒻を植えて、各家庭で栽培していたんだよ」と語るのは、３代目の代表となる豊田雅三さん。**
それを取りまとめて販売を始めたのが昭和2年。**椿大神社の宮司と親交のあった先代が境内でお土産物として販売を始めたのをきっかけに『椿銘物』として地域に定着していったそうです。**

大量消費の時代になってこんにゃくの製造も機械化が進んだが、こんにゃくの**仕上がりや味**を左右する根幹となる工程は今も尚、**職人**による**手作業**での**仕上げ**。
昔ながらのこんにゃくの**製法を守り続け**ています。重量もあり、長期間の保存というわけにもいかない蒟蒻は、**地域密着の食材**。

３０種類以上のラインナップがあるそう

できる限り**地産地消を心がける**豊田さんは原料の一部を**自らも栽培し**、地域の生産者とも連携。**原材料や水質**にもこだわっています。
今では大手量販店や物産店での販売のほか、市内小学校の給食にも使用されている椿こんにゃく。**『鈴鹿銘物』**となったこの先も
「うちは小さくやっているから、お客さんの細かい要望に答えられるのが強み。
他にはない**アイディア**製品もあるので、コンセプトショップを造って椿大神社さんに来られる全国の方に知ってもらい、ECサイトでの**販売や贈答品**としても使えるものにしていきたい。」
との展望をお話しされていました。

地域に根付いた特産品を守り、そして発信し続ける豊田さん。
私たちも地域の魅力を多くの方に伝えられる存在となるべく、**邁進してまいります！！**

～椿こんにゃく～

三重県鈴鹿市山本町２０８－４８
TEL　０５９－３７１－１０５９
営業時間　９：００－１７：００
定休日　水曜日

Instagram
TSUBAKI_KONNYAKU

猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）
直通Tel:090-1835-0277